

令和3年3月4日

令和3年
第1回野洲市議会定例会
決 議 書

野 洲 市 議 会

決議第 1 号

議第 13 号令和 2 年度野洲市一般会計補正予算（第 18 号）に対する付帯決議案

上記の議案を提出する。

令和 3 年 3 月 4 日

提出者	野洲市議会議員	北村	五十鈴
-----	---------	----	-----

賛成者	野洲市議会議員	荒川	泰宏
-----	---------	----	----

賛成者	野洲市議会議員	工藤	義明
-----	---------	----	----

賛成者	野洲市議会議員	野並	享子
-----	---------	----	----

賛成者	野洲市議会議員	東郷	正明
-----	---------	----	----

賛成者	野洲市議会議員	鈴木	市朗
-----	---------	----	----

決議第 1 号

議第 13 号令和 2 年度野洲市一般会計補正（第 18 号）に対する付帯決議案

議第 13 号令和 2 年度野洲市一般会計補正（第 18 号）に対する付帯決議案として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業中、付帯決議を別紙理由にて下記のとおり提出する。

記

- 1、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業の予算執行の段階でその事業の緊急性、優先順位を再考の上、市民生活に直結している事業から実行するよう配慮を求める。

以上決議する。

令和3年3月4日

令和3年第1回野洲市議会

定例会 決議書関係資料

野 洲 市 議 会

議第 13 号令和 2 年度野洲市一般会計補正（第 18 号）に対する
付帯決議案 関係資料

（提案理由）

コロナ対策として、国の 1 次・2 次補正で、野洲市には約 4 億 8 千万円の交付金があり、既に 47 事業が実行されています。そして今回 2 月補正で、残った交付金に 10 項目の事業計画が追加され、既に県に提出されています。問題はその 10 事業のひとつ、全議員にタブレットを購入する費用、約 550 万円の取り扱いについてです。

では、コロナ対策交付金とは何か、コロナの感染拡大に伴う緊急経済対策として内閣府が所管する交付金で、総額 3 兆円が計上されています。使い方の自由度が高いのが特徴で、国の資料によると「感染拡大の防止」といった医療現場への直接的な支援もあれば、地域経済の活性化や「新しい生活様式への対応」というイメージのつかみにくいものも対象になっています。

だからこそ、議会の、自治体の良心が問われるのではないのでしょうか。

全国的にも目的外と判断されかねない利用事例が相次いでいます。では今回のタブレット購入費はこの交付金の対象になるのか。タブレット等の ICT 購入に関しては、3 密対策に限る場合のみであると政府も個別言っています。そもそも野洲市議会としてのタブレット導入計画は約 10 年前から議論されてきました。目的は「ペーパーレス化」、その合意形成は議会の中で熟し、一般財源からの予算要望を続けてきました。ゆえに、タブレット導入そのものには異論はありません。しかし市も厳しい財政、未だに予算は認められてはいません。だから今回のコロナ交付金の余剰金を充てようとしたものですが、この進め方は議会の総意ではなく、これこそ便乗ではないのでしょうか。ましてや 3 密から言えば、庁舎内、議会にはほぼ 3 階全てのスペースがあたえられ、年間 100 日も使わない広い会派室があり、委員会には十分な距離が取れています。半面職員はどうでしょう、職員もタブレットを購入したからといいますが、平時でも狭い職場環境、またタブレットの使用頻度も議員とは比べ物にはならない筈です。だから議会が今回大きな理由としている危機管理は、タブレットがなくても、感染リスク低減につながる議員個々の行動様式の再認識で十分対応できるのではないのでしょうか。それよりも野洲市内コロナの影響で日々の生活に困窮している住民、事業者さんが多くおられる中、そんな困っている皆様に今回の交付金が正しく使われているか執行部を審査する議会が、自分たちが使う備品購入にこの交付金を充てることは市民の感覚からは大きくずれていると思います。住民の代表である私たち議員、だから住民が考えていること、苦しんでいること、悲しんでいる

こと、そうした大きな声、小さな声、声なき声、ため息すべての声を、いつも心を開き受けとめ、住民と共に喜び、住民と共に涙する血の通った信頼される議会でなければなりません。今回の国難を皆で助け合って乗り越えるためにも私たちは勘違いしてはいけないと思います。議会のことは後回しでいい、最後でいい。収入も変わらない議員のことより市民の痛みに寄り添い、ペーパーレス化を危機管理に置き換えてはならないと思うのです。

よって可決はされませんが、執行部に対して、執行段階において、コロナ交付金に関しては、緊急性、優先順位を十分考慮して欲しい、市民生活に直結している事業から実行するよう配慮を求め付帯決議とします。

どうか議員の皆様、18号は可決しました、だからいずれ遠くない将来、念願のペーパーレス化は叶うと思います。だから今回の優先順位だけは譲っていただけませんか。心からお願いして私の提案理由とします。